

2006年度 京都大学 生涯教育学講座 彙報

1. 授 業

《大学院》

教 授	前平 泰志	生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
教 授	川崎 良孝	図書館情報学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
助教授	渡邊 洋子	生涯教育学研究Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		継続教育論	前期
		生涯教育学講読演習Ⅰ	後期
助教授	佐藤 卓己	図書館情報学演習Ⅰ・Ⅱ	前／後期
		生涯教育学特論Ⅱ	前期
		生涯教育学講読演習Ⅱ	後期
講 師	田中 治彦	生涯教育学特論Ⅰ	前期集中
講 師	吉田 右子	図書館情報学特論Ⅰ	前期集中
研究代表	金 智鉉	研究開発コロキウム（京都市の生涯学習施設における教育・学習活動の実態 — 生涯学習総合センター、学校、京都市立図書館を中心に）	前／後期
研究代表	赤上 裕幸	研究開発コロキウム （ジャーナリスト選抜の歴史社会学）	後期

《学 部》

教 授	前平 泰志	偏見・差別・人権（リレー講義）	前／後期
		同和・人権教育論	前期
		生涯学習概論Ⅱ	後期
		相関教育システム論基礎演習ⅡA	前期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
教 授	川崎 良孝	図書館情報学概論Ⅰ	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡB	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
助教授	渡邊 洋子	生涯学習概論Ⅰ	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡA	前期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期
助教授	佐藤 卓己	メディア文化論	前期
		相関教育システム論基礎演習ⅡB	後期
		生涯教育・図書館情報学専門ゼミナールⅠ・Ⅱ	前／後期

講 師	山田 正行	社会教育計画論 I・II	前／後期
講 師	西岡 正子	相関教育システム論講読演習 II	後期
講 師	井上 靖代	図書館情報学概論 II	後期
講 師	塩見 昇	図書館経営論	前期
		学校経営と学校図書館	前期
講 師	山本 昭和	図書館サービス論	前期
講 師	志保田 務	資料組織論	前期
		図書館資料各論	後期
講 師	佐藤 毅彦	情報サービス論	前期
		情報サービス論演習	後期
講 師	堀川 照代	学習指導と学校図書館	前期集中
講 師	高嶽 裕樹	情報検索演習	前期集中

2. 研究活動

《講座共通》

・研究科プロジェクト参画

魅力ある大学院教育イニシアティブ「フィールドをたちあげる」(野殿・童仙房地区)

(関連HP: <<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/initiative/>>)

——《Pickup》—— 8.9～11 (野殿童仙房小学校跡地)〈夏季セミナー〉

・参加／交流

日中教育学系合同シンポジウム —— 6.4～7 (北京師範大学)

北京師範大学張院長を囲む院生の集い —— 10.19 (小集団420室) 16:30～17:30

・主催／特別ゼミ

佐藤卓己先生(本講座)特別講義 —— 4.18 (小集団420室) 5限目

“戦没者追悼の世論と平和祈念の輿論 —— 「8月15日の神話」を超えて——”

生涯教育学講座 合同新入生歓迎会

—— 4.18 (居酒屋「百万遍写楽」) 18:30～21:00 〈参加20名〉

《生涯教育学研究室》

・参加／交流

京都大学シニアキャンパス2006 —— 9.19～22 (百周年時計台記念館ほか)

京都生涯学習セミナー

生涯学習コーディネーター・子育てサポーター養成講座

・研究会

「地域通貨研究会」(学会ラウンドテーブル研究発表 —— 6.3～4、9.10)

『ローカルな知』研究会」

「学びの文化研究会」

「医学と教育を考える勉強会」

—— 《Pickup》 —— 12.6 (医学部附属病院 外来棟 5階 A会議室) 18:30～

講師：小西竜太先生

(沖縄県立南部医療センター総合内科・元 沖縄県立中部病院チーフレジデント)

題目：「臨床研修病院でのチーフレジデント制度

研修医教育に必要な教育スキル・マネジメントスキル」

《図書館情報学研究室》

マリアン・コーレンさん (IFLA 理事) 講演会 テーマ：“女性と図書館”

—— 8.29 (ドーンセンター) 15:00～17:00

マリアン・コーレンさんを囲んでの勉強会

—— 8.31 (小集団420室) 13:30～14:45 <講演の部>

“Health Information in Public Libraries in the Netherland”

—— 同 (同) 15:00～16:30 <ディスカッションの部>

《メディア学研究室》

津金澤聰廣先生 (桃山学院大学社会学部社会学科) 講演

テーマ：“大阪毎日新聞社の社会教育活動について”

—— 12.4 (小集団420室) 17:00～19:00

3. 院生研究業績

【博士後期課程】

金 智鉉 (図書館情報学D3)

- ・論文：「日本における視覚障害者の教育と読書・学習環境の形成 —— 歴史的変遷過程をめぐって ——」京都大学大学院教育学研究科「魅力ある大学院教育」イニシアティブ国際委員会編『学術交流協定締結記念日中教育学系合同シンポジウム合同論文集』2006年 75-84頁
- ・翻訳：バーバラ・T.メイツ著、高島涼子／川崎良孝／金智鉉訳『高齢者への図書館サービスガイド —— 55歳以上図書館利用者へのプログラム作成とサービス ——』京都大学図書館情報学研究会発行、日本図書館協会発売、2006年11月
- ・口頭発表：「日本における視覚障害者の教育と読書・学習環境の形成 —— 歴史的変遷過程をめぐって ——」 —— 6.6 (日中教育学系合同院生シンポジウム／北京師範大学)

生津 知子 (生涯教育学D 3)

- ・著 書：「第8章 第三期の大学の基本理念と活動実態：イギリスU3Aの事例から」堀薫夫編『教育老年学の展開』学文社 2006年 160-176頁
- ・論 文：「生涯学習機関としてのカルチャーセンター——先行研究および関連調査の動向から——」『『男女共同参画』『異文化共生』を展望する『趣味・習い事』プログラムの研究』報告書（平成16・17年度時科学研究費補助金基盤研究（C-2）研究成果報告書、研究代表者：渡邊洋子）2006年 11-16頁
- ・論 文：「『成人の学習ニーズと学習スタイルに関する調査』にみられる学習経験と『学び』観」『『男女共同参画』『異文化共生』を展望する『趣味・習い事』プログラムの研究』報告書（平成16・17年度時科学研究費補助金基盤研究（C-2）研究成果報告書、研究代表者：渡邊洋子）2006年 23-33頁
- ・研究ノート：「講座提供型生涯学習機関における学習援助方法論の検討——カルチャーセンター講師の役割を手がかりとして——」『日本学習社会学会 第2号』 2006年 89-94頁
- ・口頭発表：「ノールズ自己主導型学習論の再検討」—— 9.9（日本社会教育学会全国研究集会自由研究発表／福島大学）

倉知 典弘 (生涯教育学D 3)

- ・論 文：「徒弟教育における『学び』を考える」京都大学大学院教育学研究科「魅力ある大学院教育」イニシアティブ国際委員会編『学術交流協定締結記念日中教育学系合同シンポジウム合同論文集』 2006年 85-92頁
- ・口頭発表：「徒弟教育における『学び』を考える」—— 6.6（日中教育学系合同院生シンポジウム／北京師範大学）
- ・口頭発表：「手島精一の『補習学校』論の検討」—— 9.9（日本社会教育学会全国研究集会自由研究発表／福島大学）

安川由貴子 (生涯教育学D 2)

- ・論 文：「G. ベイトソンのコミュニケーション論の生涯学習への展開」京都大学大学院教育学研究科「魅力ある大学院教育」イニシアティブ国際委員会編『学術交流協定締結記念日中教育学系合同シンポジウム合同論文集』 2006年 93-100頁
- ・口頭発表：「G. ベイトソンの『エコロジー』概念に関する一考察」—— 9.9（日本社会教育学会全国研究集会自由研究発表／福島大学）